

(社福)オリーブの樹職員研修成果発表会のご案内

社会福祉法人オリーブの樹(以下「オリーブの樹」と記す)では、職員の自主的研修を促進するため、平成26年度よりグループ研修を実施しています。今回は、オリーブの樹で業務遂行のために作っております5チーム(就労支援、作業支援、生活支援、販売促進、地域福祉)が、理事長から提示された25のテーマより各々の問題意識によりテーマを選択し、その成果をまとめ、発表するという形態をとりました。

昨年の7月より各チームで研修を積んでまいりましたが、この度その成果かがまとまりましたので、下記のとおり成果発表会を開催いたします。

つきましては、当法人の以外の方々にもぜひその成果をお聞きいただきたくご案内いたします。

○開催日時 平成29年3月23日(木)14:45より

○開催場所 千葉市文化センター セミナー室

＊千葉市中央区中央2-5-1(裏面地図参照)

○スケジュール

14:45 開会

理事長挨拶(本研修のねらい)

15:00 研修成果発表(下記5チームによる発表)



No.	チーム名	発表テーマ
1	就労支援チーム	就職者と職場へのトラブル発生時の介入方法、介入時期
2	作業支援チーム	付加価値の高い作業を創出するには
3	生活支援チーム	利用者の受け入れの合理的配慮について
4	販売促進チーム	障害者が販売活動を行う意義
5	地域福祉事業推進チーム	福祉制度の隙間と新規事業の創設について

16:30 講評 成績発表 表彰

15:30 終了

○問合せ先 or 参加申込 オリーブハウス(担当加藤裕二)

TEL043-216-8211 Fax043-216-8212 Email rjicho@olivehouse.info

＊事前の申込無く当日の飛び込み参加も可能ですが、資料作成の都合もありますので、参加について可能であればご一報いただけると助かります。

<各チームの研修テーマ選択の理由>

○就労支援チーム；就職者と職場とのトラブル発生時の介入方法、介入時期

就職に繋がってもコミュニケーションの問題やトラブル等で支援機関に連絡がくることが頻繁にある。緊急性の高いケースについては、訪問を行い対応するということもあるが、企業によっては、対応可能と思われる状況でも介入を迫られる場合もある。このような状況においては、受け入れ先と支援機関の役割を再度洗い出していく必要があると感じているから。

○作業支援チーム：付加価値の高い作業を創出するには

本チームの意義の一つに付加価値の高いよりよい作業を目指すことにある。まずは各班の仕事（作業）の数値化を図り、利用者の仕事の量と質の向上を目指す。そこには利用者のみならず、支援者の意識改革も含まれる。どこまで具現化できるか、テーマとしては挑戦する価値があると思ったから。

○生活支援チーム：利用者の受け入れの合理的配慮について

28年に障害者差別解消法が施行となり、社会全体で障害者に対する合理的配慮を行うことが義務化された。障害者と関わる福祉専門職として、合理的配慮の内容を吟味し、施設利用者、保護者、関係者に対する共通認識を持てるように研究を行いたいから。

○販売促進チーム：障害者が販売活動を行う意義

日頃、当たり前のように作業の一つとして行っている販売であるが、果たしてそれが利用者にとってどのような意味合い、及び価値があるのか・・・あるいは、何がプラスになっているのかを改めて検討し、販売を通してより良い支援に繋げていけることを課題として、「障害者が販売を行う意義」を検討してみたいから。

○地域福祉事業推進チーム：福祉制度の隙間と新規事業の創設について

「福祉制度の隙間」とは、困難を抱えているがどこに相談したらいいのかわからない、悩みはあるが解決できない等、まだまだ福祉制度を利用できない、知らない方たちのことを指すのではないかと考える。また、介護保険制度が目まぐるしく変わる中で、介護保険を上手く利用できていない方、まだ利用できない方たちがたくさんいると思う。そこで、以前から取り組んでいる「ごようきき事業」をたくさんの方へ周知し、利用拡大を図り、オリーブハウスの新規事業として確立していきたく研修テーマのとした。

千葉市文化センター案内図

